



行方市のSDGsを毎月紹介!

持続可能な市を目指し、できることから始めよう



SDGsには、飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進すること、および持続可能な生産消費形態を確保することが、目標の一つとして掲げられています。農業は、国民生活に不可欠な食料を供給する機能等を有しています。茨城県は広大で肥沃な農地、首都圏に位置する地理的優位性などの強みを背景に、農業産出額が全国3位(令和4年)で「食材の宝庫」として日本の食料マーケットを支えています。茨城県では、農業を魅力ある産業として次世代に引き継いでいくため、「儲かる農業」の実現を目指して収益性を高めるための構造改革を進め、その一つとしてブランド力向上による高付加価値化を図っています。

「行方かんしょ」は、令和5年3月に国の地理的表示(GI)保護制度に登録された「なめがたブランド」創出のけん引役です。GI保護制度とは、社会的評価等の特性を有する製品の名称を、地域の知的財産として保護するものです。登録されると、市場において目にする機会が増えたり、外食、観光などの他業種とのコラボ商品・コラボサービスの開発・提供が推進されたりします。なお、平成27年のGI制度開始以来、全国で138品目が登録されていますが(令和6年1月29日時点)、茨城県内では行方かんしょの他に、江戸崎かぼちゃ、飯沼栗、水戸の柔甘ねぎ、奥久慈しゃもの5品目が登録されています。

参照:『令和4年度 食料・農業・農村白書』『地理的表示保護制度の運用見直し』農林水産省、『茨城農業の将来ビジョン』茨城県



SDGs…「持続可能な開発目標」と訳され、2015年の国連総会で採択された。17項目の目標を掲げ、目標の下には、具体策や数値目標などを示した計169のターゲットがある。

◆編集後記◆
写真撮影にご協力していただいた児童の皆さん、ありがとうございます。どの写真を使うか非常に悩みました。給食といえば小学校の頃の私は、折開催されるデザート争奪じゃんけん大会に燃えていました(笑)(太あつという間に3月となった気がします。ある研究によると、人が感じる時間経過の速さは、年齢に比例して加速するのだそう。一方で、日常に変化や新しい体験を取り入れると、時間を長く感じられるという調査結果もあるとか。日々を大切に過ごしていきたいものです。(井)

かわいい笑顔あつまれ!

産まれてきてくれてありがとう!

てづか手塚	りく莉徠	ちゃん	5歳
てづか手塚	とあ柗杏	ちゃん	0歳

「市報行方」は、各地区の公共施設(各庁舎、公民館、図書館、運動場など)やその他施設(セイミヤモール麻生店、ベイシア玉造店、なめがた地域医療センターなど)、市内セブンイレブン全9店舗に配置しています。詳しくは、ホームページでご確認ください。(こちらのQRコードから▶)

【市報配布に関するお問い合わせ】 総務課(麻生庁舎) ☎0299-72-0811



行方市の人口

総数	32,008人 (-42)
男	16,182人 (-32)
女	15,826人 (-10)
世帯数	13,116世帯 (+8)

令和6年2月1日現在の住民基本台帳人口
※外国人住民を含む ()は前月との比較

行方市民憲章 やさしい自然 かがやく人 わたしたちがつくる 魅力あるまち、行方市

市の花 ヤマユリ (山百合)	市の木 イチョウ (銀杏)	市の鳥 シラサギ (白鷺)
----------------	---------------	---------------